

最も経済的な 多収穫混播草地

〈優良混播事例〉



地域	集約放牧用	牧野用	集約採草用
北海道 東北地方北部	オーチャードグラス(フィロックス) 1.0 ^a	オーチャードグラス(フロード) 1.5 ^a	オーチャードグラス(ヘイキング) 1.0 ^a
	チモシー(オムニヤ) 0.5	メドウフェスク(レトー) 1.0	チモシー(ホイオウ) 0.5
	ベレニアルライグラス(マンモス) 0.5	ケンタッキーブルーグラス 0.5	メドウフェスク(レトー) 0.5
	メドウフェスク(レトー) 1.0	チモシー(オムニヤ) 0.5	イタリアンライグラス(マンモスB) 0.3
	イタリアンライグラス(マンモスB) 0.2	白クローバ(ニュージーランド) 0.5	赤クローバ(ハミドリ) 1.0
	ラデノクローバ 0.5		ルーサン(デュビュイ) 1.0
東北地方南部 北陸地方	オーチャードグラス(フィロックス) 2.0	オーチャードグラス(フロード) 1.5	オーチャードグラス(ヘイキング) 1.5
	ベレニアルライグラス(マンモス) 1.0	トールフェスク(ケンタッキー31) 1.0	チモシー(ホクオウ) 0.5
	イタリアンライグラス(マンモスB) 0.2	ケンタッキーブルーグラス 0.5	イタリアンライグラス(マンモスB) 0.3
	ラデノクローバ 0.3	赤クローバ(ハミドリ) 0.5	赤クローバ(ハミドリ) 1.0
	白クローバ(ニュージーランド) 0.5	ルーサン(デュビュイ) 1.0	
関東・中部地方	オーチャードグラス(ポトマック) 2.0	オーチャードグラス(ポトマック) 1.5	オーチャードグラス(ヘイキング) 1.5
	ベレニアルライグラス(マンモス) 1.0	トールフェスク(ケンタッキー31) 1.0	H・ワンライグラス 1.0
	イタリアンライグラス(マンモスA) 0.3	イタリアンライグラス(マンモスA) 0.5	イタリアンライグラス(マンモスA) 0.2
	ラデノクローバ 0.5	白クローバ(ニュージーランド) 0.5	赤クローバ(ハミドリ) 0.5
		赤クローバ(ハミドリ) 0.5	ルーサン(デュビュイ) 1.0
	ケンタッキーブルーグラス 1.0	ラデノクローバ 0.3	
東海・近畿地方	オーチャードグラス(ポトマック) 2.0	オーチャードグラス(ポトマック) 1.0	オーチャードグラス(ヘイキング) 1.0
	H・ワンライグラス 1.0	トールフェスク(ケンタッキー31) 1.0	トールオートグラス 1.0
	イタリアンライグラス(マンモスA) 0.3	イタリアンライグラス(マンモスA) 0.3	イタリアンライグラス(マンモスA) 0.2
	ラデノクローバ 0.5	レッドトップ 0.5	赤クローバ(ケンランド) 0.5
		赤クローバ(ケンランド) 0.5	ルーサン(ウイリアムス) 1.0
		白クローバ(ニュージーランド) 0.5	ラデノクローバ 0.3
	パーツフトトレフオイル(エンバイヤ) 0.5		
中国・四国地方	オーチャードグラス(ポトマック) 1.5	オーチャードグラス(ポトマック) 1.5	オーチャードグラス(ポトマック) 1.0
	H・ワンライグラス 1.0	トールフェスク(ケンタッキー31) 1.0	トールオートグラス 1.0
	イタリアンライグラス(マンモスA) 0.3	イタリアンライグラス(マンモスA) 0.3	マウンテンブROOMグラス 0.5
	パーミューダグラス 0.5	バヒヤグラス(又はダリスグラス) 0.5	イタリアンライグラス(マンモスA) 0.2
	ラデノクローバ 0.5	白クローバ(ニュージーランド) 0.5	赤クローバ(ケンランド) 0.5
		ルーサン(ウイリアムス) 1.0	
九州地方	オーチャードグラス(ポトマック) 1.5	オーチャードグラス(ポトマック) 1.5	オーチャードグラス(ポトマック) 1.0
	イタリアンライグラス(マンモスA) 0.3	イタリアンライグラス(マンモスA) 0.3	トールオートグラス 1.0
	パーミューダグラス 0.5	バヒヤグラス(又はダリスグラス) 0.5	ダリスグラス 0.5
	バヒヤグラス 1.0	レッドトップ 0.5	イタリアンライグラス(マンモスA) 0.2
	白クローバ(ニュージーランド) 0.5	白クローバ(ニュージーランド) 0.5	赤クローバ(ケンランド) 0.5
			ルーサン(ウイリアムス) 1.0



混播牧草の施肥基準

播種期	播種法	畑の種類	施肥基準 (10アール当り、キロ)								目標生草収量 キロ	利用時期	
			初年目の施肥全量 (基肥に翌年春～夏までの追肥を含む)					2年目からの追肥全量(秋と翌春～夏)					
			推薦肥	石灰	窒素	燐酸	加里	石灰	窒素	燐酸			加里
寒地 8/中～8/下	散播	熟畑	(2,000)	100	11 (3)	15 (11)	14 (4)	100	20	10	23	5,000	寒地 4/下～11/上
			(2,000)	100	25 (17)	25 (21)	36 (26)	100	40	20	40	10,000	
			(2,000)	100	46 (38)	35 (31)	42 (32)	100	70	30	67	15,000	
暖地 9/上～10/中	転換畑	熟畑	(2,000)	100	9 (1)	5 (1)	10 (1)	100	20	10	23	5,000	暖地 3/下～11/下
			(2,000)	100	23 (15)	20 (16)	22 (12)	100	40	20	40	10,000	
			(2,000)	100	36 (28)	25 (21)	29 (19)	100	70	30	67	15,000	
	開墾地	—	200	13	25	13	100	20	10	20	5,000		
		—	200	33	50	33	100	40	30	36	10,000		
—		200	53	75	67	100	70	50	50	15,000			

●()内は堆厩肥を入れた場合の施肥量 ●堆厩肥の成分含量 2,000^g。中 窒素8, 燐酸4, 加里10
牛尿の成分含量 2,000^g。中 窒素10, 燐酸0, 加里30

〈10アール当り〉

湿 地 用		乾 燥 地 用		裏 作 草 地 用		短 年(輪作)草 地 用	
メドウフェスク(レトー)	1.0 ^g	オーチャードグラス(ヘイキング)	1.0 ^g	イタリアンライグラス(マンモスB)	1.5 ^g	オーチャードグラス(フロード)	1.0 ^g
リードカナリーグラス	0.5	ブロームグラス	1.5	アルサイクローバ(テトラ)	1.0	チモシー	0.5
チモシー(ホクオウ)	0.5	ルーサン(デュピュイ)	1.0			ベレニアルライグラス(マンモス)	1.0
ラデノクローバ	0.5	白クローバ(ニュージーランド)	0.3			赤クローバ(ハミドリ)	1.0
アルサイクローバ(テトラ)	1.0					ラデノクローバ	0.3
メドウフェスク(レトー)	1.5	オーチャードグラス(ヘイキング)	1.0	イタリアンライグラス(マンモスA)	1.5 ^g	オーチャードグラス(フロード)	1.0
レッドトップ	0.5	トルオートグラス	1.0	アルサイクローバ(テトラ)	1.0	ベレニアルライグラス(マンモス)	1.0
アルサイクローバ(テトラ)	0.5	ルーサン(デュピュイ)	1.0			H・ワンライグラス	0.5
ラデノクローバ	0.5	白クローバ(ニュージーランド)	0.3			赤クローバ(ハミドリ)	1.0
						ラデノクローバ	0.3
トルフェスク(ケンタッキー31)	1.5	オーチャードグラス(ヘイキング)	1.0	イタリアンライグラス(マンモスA)	1.5	オーチャードグラス(フロード)	1.5
レッドトップ	0.5	トルフェスク(ケンタッキー31)	1.0	赤クローバ(ケンランド)	1.5	イタリアンライグラス(マンモスA)	0.3
アルサイクローバ(テトラ)	1.0	ブロームグラス	1.0			赤クローバ(ケンランド)	1.0
ラデノクローバ	0.5	ルーサン(デュピュイ)	1.0			ラデノクローバ	0.3
	0						
トルフェスク(ケンタッキー31)	1.5	オーチャードグラス(ポトマック)	1.0	イタリアンライグラス(マンモスA)	1.0	オーチャードグラス(ポトマック)	1.5
レッドトップ	0.5	トルフェスク(ケンタッキー31)	1.0	クリムソンクローバ	2.0	イタリアンライグラス(マンモスA)	0.3
リードカナリーグラス	0.5	トルオートグラス	1.0			赤クローバ(ペンスコット)	1.0
ラデノクローバ	0.5	ルーサン(ウイリアムス)	1.0			ラデノクローバ	0.3
トルフェスク(ケンタッキー31)	1.5	オーチャードグラス(ポトマック)	1.5	イタリアンライグラス(マンモスA)	1.5	オーチャードグラス(ポトマック)	1.0
レッドトップ	0.5	トルオートグラス	0.5	ラデノクローバ	0.5	イタリアンライグラス(マンモスA)	0.5
リードカナリーグラス	0.5	ダリスグラス	1.0			ラデノクローバ	0.5
ラデノクローバ	0.5	白クローバ(ニュージーランド)	0.5			赤クローバ(ペンスコット)	0.5
バーズフットレフォイル(エンバイヤ)	0.5	バーズフットレフォイル(エンバイヤ)	0.5				
トルフェスク(ケンタッキー31)	1.5	トルフェスク(ケンタッキー31)	1.0	イタリアンライグラス(マンモスA)	1.5	オーチャードグラス(ポトマック)	1.0
レッドトップ	0.5	トルオートグラス	0.5	ラデノクローバ	0.5	イタリアンライグラス(マンモスA)	0.5
白クローバ(ニュージーランド)	0.5	ハビヤグラス	0.5			ラデノクローバ	0.5
バーズフットレフォイル(エンバイヤ)	0.5	ダリスグラス	1.0			赤クローバ(ペンスコット)	0.5
		ルーサン(ウイリアムス)	1.0				



秋まき 青刈麦類

晩秋と早春に多収かくでき
葉量多く嗜好の良い青刈えんばく

豊葉 (ホウヨウ)

晩生系で分けつ多く、葉量の多い多収品種。寒さに強く、生長点が低いので、2～3回刈でき、暖地の秋まきに最適。

雪印101号

晩生系で分けつ多く、稈やわらかく、又生葉数の多い多収品種。寒さにも強く2～3回の早刈が有利。暖地の秋まき用。

太豊 (タイホウ)

前進より出穂期は5～7日遅いが、伸長、多けつで葉茎の大きい多収品種。主に春まきに適するが、関東以西の秋まきの成績も優れている。

セブンオート

中生系で、分けつ多く再生力も旺盛。耐寒性は最も強く、病害にも強く、倒伏の少ない新品种。寒さの強い地帯で秋まきし、サイレージ用。

前 進
岡山県
日向県

共に早生系で、早期利用に適します。



雪印改良

青刈えんばく



セブンオート



雪印改良

青刈ライ麦

早春の青刈飼料として
寒冷積雪地帯の秋まき適作物
〈雪印改良〉

青刈ライ麦 (4倍体)

葉茎の巨大な極多収品種。初期生育と再生が良好で2～3回刈取できます。稈は太く強健で倒伏し難く、病害にも強い。

青刈ライ麦(在来種)…改良種より早生系で初期生育も早い。

冬期間の乳牛に欠かせない
 ビタミン類多く
 泌乳促進の
 多汁質根菜



〈短期間に収かくできる〉

家畜かぶ

雪印改良 紫丸かぶ	生育日数約90日の早生系。葉部は少ないが、厚肉で多収。貯蔵力も高く、短期収かく用
雪印改良 下総かぶ	生育日数110～130日の晩生系。葉部根部共極めて多収。
小岩井かぶ	生育日数100～110日の中生系。東北地方、北海道南部で多収。
セブントップ	生育日数130～150日の極晩生系、葉数多く、主に西南暖地で多収。
ケンシンかぶ	北陸農試育成種、中生系で府県各地に適する。病害に強く、葉量多く、根部収量も大(品薄)

各地における青刈麦類とかぶの栽培例

(10アール当り)

作物名	地域	播種期	播種量	播種法	施肥量					収かく		備考		
					基肥			追肥		利用時期	収量			
					堆肥	石灰	化学肥料(成分量)						時期	肥料と量
窒素	燐酸	加里	キロ	キロ	キロ									
青刈えんば	関東地方 (埼玉県の例)	10/中～ 11/上	キロ 6～8	センチ 60～75 ×条播	キロ 1,500	キロ 80	キロ 10	キロ 10	キロ 10	キロ	4/下～5/中	トン 4～6	イタリアンライを1～2キロ混播すれば更に多収	
	近畿地方 (兵庫県の例)	8/下～ 11/下	5～6	60× 条播	2,000	100	7	5	12	10/上～中 3/上～中	窒素10 加里3 分肥	11/下～12/上 4/下～5/下	(2～3回刈) 5～7	〃
青刈ライ麦	東北地方 (岩手県の例)	9/中～ 10/下	12	60× 条播	1,200	—	8	10	8	早 春	窒素3	4/下～5/下	2～4	〃
	東海地方 (愛知県の例)	10/上～ 10/下	6～8	60× 条播 又は 散播	3,000	80	5	6	6	2/下～3/上	窒素 4～5	4/中～5/中	3～5	〃
家畜かぶ	北陸地方 (新潟県の例)	8/中～ 9/下	0.1	60～ 80× 15～20	2,000	—	5	4	5	9～10葉期	窒素5	11/中～5月	葉…2.5 根…4.5	
	九州地方 (宮崎県の例)	8/下～ 10/上	0.2	60×20 ～25	1,200 ～ 1,500	90	7	10～ 15	12	播種30日 〃 60日	窒素10 分肥	12/上～2/下	7～8	

秋まき 青刈作物



青刈レープの多収品種 雪印スーパーシーオー

葉の中、長さが大きく葉数の多い青刈用の改良レープ。耐寒耐病性強い。

麦類との混播用 ベ ッ チ

つる性で麦類と混播すれば良くからみつき、栄養収量共に良好。
 コモンベッチ……暖地で多収（暖地秋まき、寒地春まき）
 ヘアリーベッチ……寒地で多収（寒暖地を通し、秋まき）

水田裏作用 れ ん げ（紫雲英）

水田裏作に広く利用されている栄養価の高いまめ科草。湿田や酸性田ではむしろアルサイククロバ、イタリアンライグラスの方が良い。

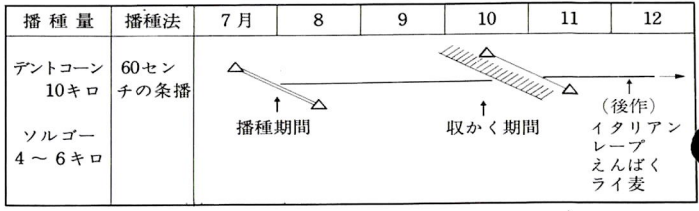
夏まき 青刈作物



密植栽培により 7～8月に播き→9～10月に多収かく

《イタリアンライグラス、青刈えんばく、ライ麦、レープなどのあと作に集約的な青刈栽培》

青刈デントコーン 青刈ソルゴ



優良品種の利用は絶対お徳です！

下記はイタリアンライの普通種とマンモスイタリアンの比較です。
 (10アール当り)

区 分	普通種	マンモスイタリアン	増収分	摘 要
種子代(3キロとして)	750円	1,440円	(+ 690円)	
生草収量(平均)	7,000キロ	10,000キロ	+ 3,000キロ	
可消化粗蛋白質	140キロ	200キロ	+60キロ	3.5%の牛乳約1,300キロの生産飼料に相当する
可消化養分総量	756キロ	1,080キロ	+ 324キロ	フスマ約650キロに相当する